

第4章 計画の推進にむけて

第4章 計画の推進にむけて

1. 関係機関等との連携

(1) 庁内推進体制

教育に対する様々な課題に的確に対応していくため、教育現場における連携はもとより、庁内の連携（教育委員会と庁内各部署）を強化し、限られた教育予算の中で効果的・効率的な教育行政の展開を図っていきます。

また、本計画に位置づけられている施策を推進していくにあたっては、関係各課による庁内推進体制を構築し、定期的な協議のもと進捗管理を進めます。

(2) 家庭、地域との連携

教育の原点は家庭であり、教育機関と家庭との連携が重要であることから、幼児期からの切れ目のない連携を図ります。

また、地域に開かれた学校教育の推進や、地域文化の保存・継承などにおいては、より一層の地域が必要であることから、地域との連携を積極的に推進していきます。

(3) 関係機関との連携

国・県などの関係機関との連携を強め、本市に対応した事業等に積極的に取り組んでいきます。

さらに、多様なニーズに対応する教育（郷土教育、キャリア教育、体験学習、放課後の学習支援など）の展開や、地域に根差した生涯学習活動の推進などにおいては、市内企業やNPO*などの協力を得ながら、社会全体で取り組んでいきます。

そのため、教育に関する様々な情報を積極的に発信し、情報共有に努めます。

2. 教育大綱との関係

「教育振興基本計画」は教育基本法、「教育大綱」は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（改正法）」にそれぞれ基づき策定されるものです。

本計画は、国・県の計画に示す内容を踏まえ、「つくばみらい市教育大綱」に基づき策定するものとします。

今後、新たな「教育大綱」が策定される場合において、「教育振興基本計画」の見直しを検討します。

3. 進行管理手法の検討

(1) 進捗状況の点検（PDCAサイクル）

PDCAサイクル（PLAN「企画・立案」—DO「実施」—CHECK「分析・評価」—ACTION「改善」）により、進捗状況の点検を実施します。



計画の見直し時の評価としては、市民満足度の評価、重点施策の評価を実施し、計画の推進状況を市民がどのように評価しているかについて検証します。

また、毎年度の検証・評価については、「つくばみらい市教育委員会事務の点検及び評価実施要綱」に基づき実施する「点検及び評価」と時期を合わせて、基本目標ごとの「取組方針」「具体的施策」と、「つくばみらい市教育振興基本計画事業計画」に基づく「事業及び目標指標」の達成度や効果について検証していきます。

評価の結果については、「点検及び評価」と合わせて、市民に公表するものとします。

実施時期	評価項目	検証・評価方法
平成33(2021)年 中間見直し時	市民満足度の目標値	目標値に対し、達成した数値をもって評価する (アンケート調査による実績評価)
	重点施策	重点施策全体での達成状況を評価する (各施策担当課による自己評価。一部実績評価)
毎年度の 点検・評価と 同時	取組方針	毎年度、年度目標を掲げ、年度末の実施状況を評価する。
	具体的施策	※事業及び目標指標については、「つくばみらい市教育振興基本計画に係る各年度版事業計画」について新規・完了・廃止事業などを含めて毎年見直しを行った上で評価する。
	事業の目標指標	

(2) 教育を取り巻く状況等の変化への対応

計画の推進過程においては、社会・経済情勢の大きな変化や国の制度改定等、教育を取り巻く状況の変化が考えられます。これらの変化に臨機応変に対応するとともに、計画の実施状況から、その内容を精査し、必要に応じて計画を適宜、適切に見直します。

※NPO（団体）：非営利で社会貢献活動や慈善活動を行う団体のこと（Non Profit Organization の略）。

